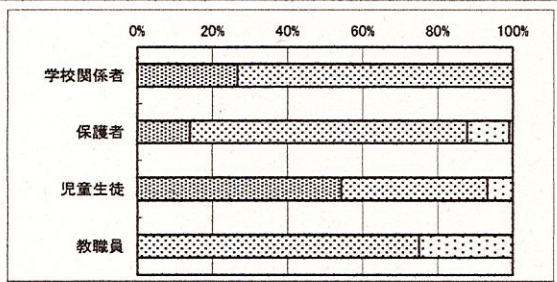
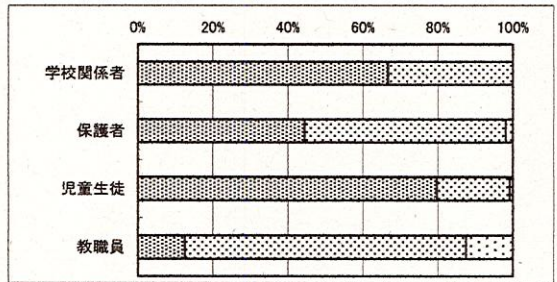
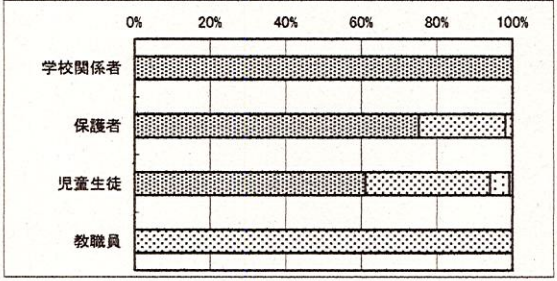
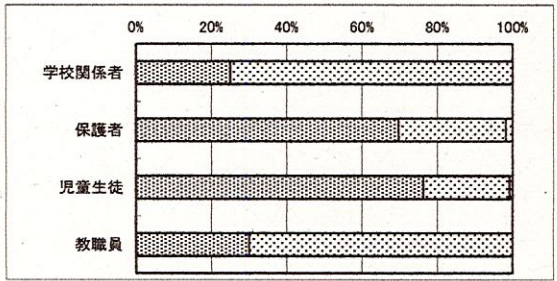




4  そう思う    3  どちらかというそう思う    2  どちらかというそう思わない    1  そう思わない

グラフは、左記の4段階評価で表してあります。

学校教育目標	1	教育目標	学校から
	学校は、家庭に教育方針や教育目標を分かりやすく示していると思いますか。		左記のグラフでは、「4」(そう思う)と「3」(どちらかというそう思う)を合わせると、4者(学校関係者・保護者・児童・教職員)ともほぼ100%を越える結果になっています。今年度は昨年度のサブテーマであった「気づき・考え・実行する児童をめざして」を教育目標としました。これは、青少年赤十字活動の態度目標でもあり、学校だよりで紹介しましたように本校は今年度継続20年の表彰を受けることができました。本校はこれまで、夏休みの地区清掃活動や地域のお年寄りへの年賀状作りなど、長年にわたってボランティア活動に取り組んできました。加盟当時の志を20年経過した今の子どもたちがしっかりと受け継ぎ、今後も保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちを育てる環境作りを進めていきたいと思います。
学校教育目標	2	めざす学校像	学校から
	お子さんを、楠浦小学校に通わせてよかったと思いますか。		この項目は、学校関係者には「学校に協力してよかったと思うか」、保護者には左記の内容、子どもには「学校は楽しいか」という質問になっています。このうち保護者は、「2」と「1」の評価を合わせると2%【2人】でした。このことを深刻に受け止め、学級ごとに原因を究明し、対策を立てていきたいと思います。アンケートで回答していただいた中には、友人関係や学級のことなどで心配されている内容のものがありません。ご相談いただいた問題については、担任を中心に全職員で早期解決に努力してまいります。
知の側面	3	授業の工夫	学校から
	先生方は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。		学校だよりでお知らせしましたように、県の学力調査の結果は、本校は全体的に見て県の平均を下回る結果となりましたが、第6学年においては平均を超える結果となりました。また、2月に実施しました標準学力検査では、学年差・個人差はありませんが、学校全体としては平均を上回る結果となりました。この結果は子どもを通じて家庭に配付してありますので、今後の家庭学習等に生かしていただければと思います。左記の子どもによる評価では、「4」と答えている割合が約80%近くですが、評価「2」と「1」を合わせると10%近くです。これらのことをふまえ、今後も毎週水曜日の放課後に位置づけえしている職員研修を有効活用し、研究授業や話し合いを通して授業力向上をめざしていきます。
知の側面	4	学習態度	学校から
	お子さんは、学習態度がよく、授業に集中できていると思いますか。		保護者の評価では、評価「2」の割合が2%でした。すべての児童にとって学校生活の大半を占める授業を分かるものに、また分かった経験が楽しいと感じられるようになっていきます。授業改善についてはすべての学級において校内研修における授業研究会の実施と学期に2回の管理職による授業指導を行って参ります。



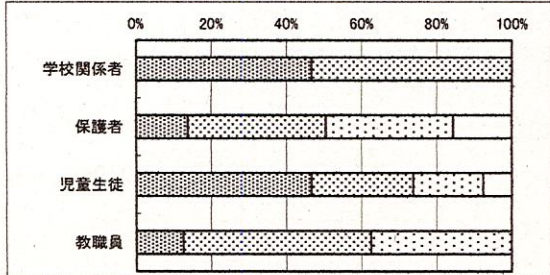
- 4  そう思う    3  どちらかという  
 そう思う    2  どちらかという  
 そう思わない    1  そう思わない

グラフは、左記の4段階評価で表してあります。

知の側面

5 読書

お父さんは、本をよく読んでいますか。

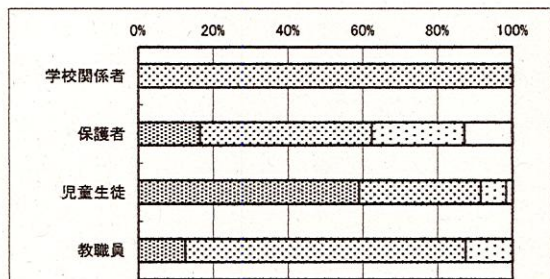


学校から

昨年度はすべての児童の平均読書冊数が100冊以上であったことは学校便りですべての家庭にお知らせしたところ。学校では、国語の授業はもとより、図書室の本の貸し出しや読み聞かせ、ノーマディアデー、移動図書など、多くの取組を継続して参りました。しかし本年度の課題として一番指摘が多かったこのことについて真摯に受け止め、家庭と連携しながら児童の学びの環境改善と家庭へのご協力を仰いで参ります。

6 家庭学習

お父さんは、すすんで家庭学習に取り組んでいると思いますか。



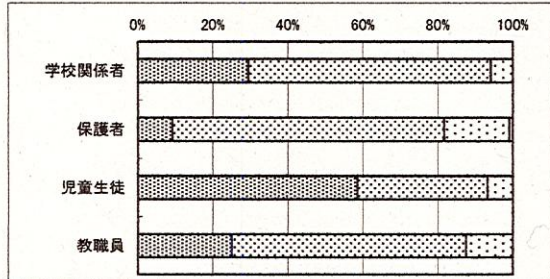
学校から

家庭学習については大変評価が低い結果となりました。県学力調査時の調査結果によると、本校の児童は計画を立てて学習をしているという児童が全国及び熊本県の平均を大きく下回る結果となっており、家庭学習の習慣化は本年度の課題の1つであると考えています。また家庭学習で分からないことがあると調べると回答した児童の割合も全国・県ともに大きく下回りました。家庭学習の質及び方法について学年の発達段階に合わせた指導を行っていきます。

知の側面

7 あの達人

お父さんは、挨拶、後片付け、安全、集まり（時刻を守ったり静かに話を聞いたりすること）に心がけて生活していると思いますか。



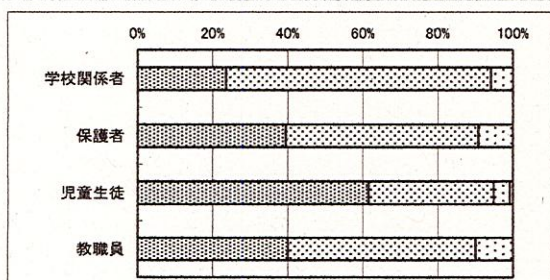
学校から

毎日、児童の登校の様子をみていますと、朝から元気のない児童、登校班に遅れてくる児童、登校班では登校できない児童と様々ですが、毎日元気いっぱいあいさつができ、登校班できちんと登校できる児童も少しずつ増えつつあります。登校班での登校の仕方（一列にならぶ、長い列にならない、横断歩道では手を挙げる、渡った後は黙礼をするのが好ましいなど）についても指導をしているところです。

徳の側面

8 規範意識

お父さんは、学校のきまりやマナーを守っていると思いますか。



学校から

児童玄関の下履きの置き方を見ると、その学校の生活状況がわかるといいます。確かにいつ見てもきちんと靴箱の中にかかとを揃えて置いてある学級もあればなかなか指導が行き届いていない学級もあります。靴を揃えるということについては担任の日頃の指導もあると思いますが、家庭での習慣が基盤にあると思います。もう一つ学校の顔になるのがトイレのスリッパです。毎日トイレを見ますが、今年は2階の高学年トイレのスリッパが男女ともに並んでいません。1階は1年2年が使いますので乱れていることもありますが指導を行っているところです。2学期は、掃除時間や休み時間などに縦割り班活動を取り入れ、上学年の意識の高揚を図っていきます。異年齢の子どもたちが触れ合う活動を通して、きまりやマナーの大切さとともにコミュニケーション能力を育てることに繋がるとを期待しています。

徳の側面

4 そう思う 3 どちらかというそう思う 2 どちらかというそう思わない 1 そう思わない

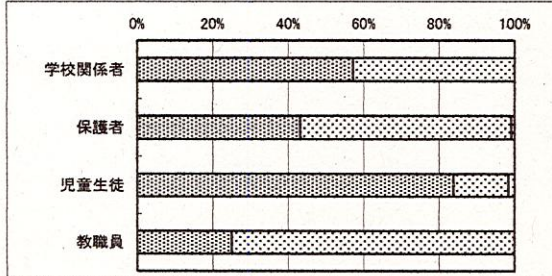
グラフは、左記の4段階評価で表してあります。

徳の側面

9 児童理解

学校から

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



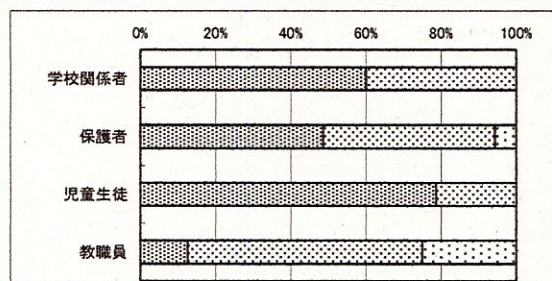
大変よい評価をいただいています。先生方が学級の児童のよさを認め、のぼすということを中心に据えた学級経営をしていたことが伝わっていると感じています。現在、県で一斉に行ういじめアンケートの実施期間であるとともに、互いに思いやりの心をもち友達を見つめ直す人権旬間の最中です。子どものよさを見つけるのもいじめ等の問題に気づくのも、その大半が担任をはじめとする学校職員です。職員一人一人は、子どもの命を預かっているという責任を自覚しなければなりません。家庭と連携を密にとりながら、子どもと向き合う時間の確保に努め、子どものよさを見つけ、悩み等には速やかに対応できるように努めていきます。

徳の側面

10 ふるさと教育

学校から

先生方は、郷土学習に進んで取り組んでいると思いますか。



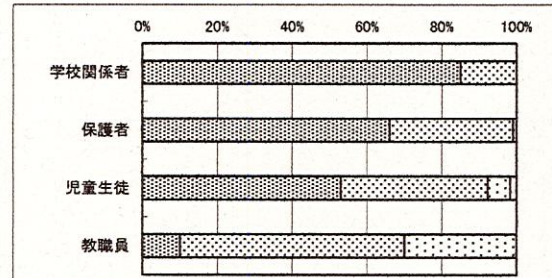
めざす児童像を「心豊かで地域を愛する子ども」としているように、地域学校協働活動推進員の飽田さんに尽力いただきながらそれぞれの学年に応じた郷土学習を実践しています。1、2年生はぐんぐんキッズの皆さんのご支援による昔遊び体験、3年生は楠浦小学校の歴史調べ、4年生はスタンプラリーで楠浦の史跡説明体験、5年生は米作り体験、6年生は伝統芸能である堀切踊りの伝承などに取り組んでいきます。特に6年生が継承している堀切踊りは、敬老会やふれあいフェスティバルにおいて地域の皆さんの前で発表するなど、楠浦の歴史と文化を多くの方々を紹介する機会となっています。このような子どもたちの体験学習を通して、教師自身も楠浦のよさについて学ぶことができます。これまでのお取組に対して楠浦町振興会をはじめ地域の多くの皆様に深く感謝を申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

徳の側面

11 環境美化

学校から

学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整備され、きれいだと思いますか。



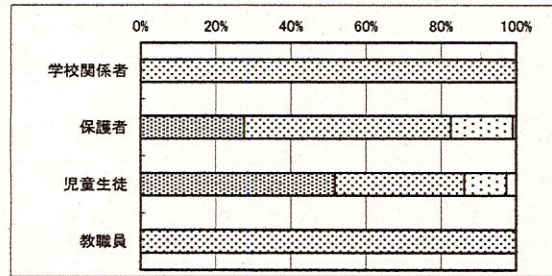
今年度は学校関係者の皆様から高い評価をいただきました。花を育てると言うことは、土、水、空気、植物に直接触れる体験を通して、人や自然を大切に、やがては地球環境を守ることもつながる大きな意味を含んでいます。また、学校農園作りには堆肥をいただいたりつきの方々にご協力いただきながら、子どもたちによる野菜作りが可能になりました。また、保護者の皆様のご協力により、定期的に草刈り作業を行っていただくなど、年間を通してきれいな環境を維持することもできています。環境は人を育てると言います。これからも美しい校舎と校庭で子どもたちが学習活動に励むことができるように、地域や保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

体の側面

12 食育

学校から

お子さんは、食事のマナーを守り、好き嫌いをなく食事をとっていると思いますか。



給食指導については低い評価となりました。2005年に成立した食育基本法において、食育は生きるための基本的な知識であり、知育、徳育、体育の基礎となるべきものと位置づけられています。評価内容は食事のマナーや好き嫌いのみに触れていますが、食育がめざすものはそれだけではなく、食に対する心構えや栄養学、伝統的な食文化等の総合的な教育です。本校ではこの一年間に栄養教諭の先生による栄養指導、米作りや野菜作り体験、郷土料理の調理実習など学年に応じた学習を実施していきます。また食事のマナーを守ることや好き嫌いをなくすことは食育としては基本的な内容であり、全ての子どもたちに身につけてほしいことです。今後はコロナ禍であるということも十分考慮はいたしますが、担任を中心に養護教諭、学習指導補助教員など複数で給食指導にあたり、準備、マナー、後片付け、歯みがきに至るまで指導体制を整えていきたいと考えています。

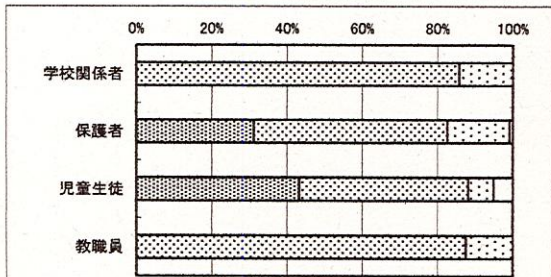
4 そう思う 3 どちらかというと思う 2 どちらかというと思わない 1 そう思わない

グラフは、左記の4段階評価で表してあります。

体の側面

13 保健指導

おさんは、早寝・早起き・朝ごはんなど、健康面に注意して生活していると思いますか。



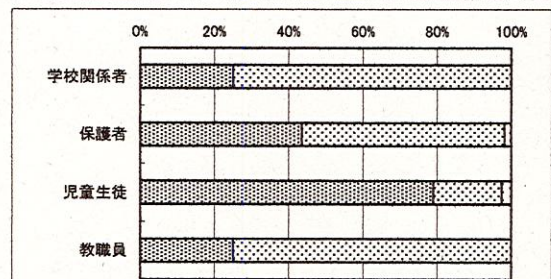
学校から

稜南中学校区における幼・保、小、中(すくすく稜南会)の取り決めでは、就寝時刻を低学年は午後9時半までに、高学年は午後10時までとしています。一般的に小学生に必要な睡眠時間は低学年では10時間、中学年では9時間、高学年では8時間必要とされています。朝食もまた、子どもたちの1日の生活に大きく影響すると言われています。早寝・早起き・朝ごはんは3つのリズムがそろって効果が現れてきます。家庭での生活リズムの点検を定期的をお願いします。また、本県及び本市の従来からの課題であるむし歯の治療率ですが、昨年度は約79%となっています。天草市では、中学生まで治療費がかかりませんのでぜひ早めの受診をお願いします。

体の側面

14 体力向上の取組

学校は、子どもが楽しく運動できる指導を行っていると思いますか。



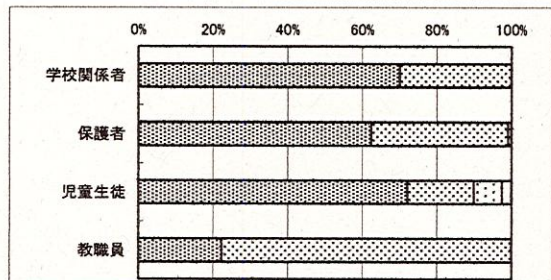
学校から

部活動がなくなり社会体育に移行していますが、4年以上の児童での加入率は低く(男子は女子より若干上回る)運動に慣れ親しむ環境から遠い状況である。また教科体育のなかでも十分な運動量の確保は、コロナ禍ということもありできていない状況もある。授業の充実や外遊びの推奨、地域行事への参画等、意図的なアプローチが必要である。

体の側面

15 安全教育

学校は、自然災害や交通事故等に対する安全教育に努めていると思いますか。



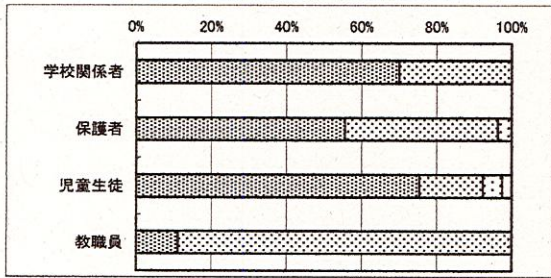
学校から

大雨に対する対応に大変高い評価をいただいています。校内では地震津波避難訓練、不審者避難訓練、火災避難訓練と、避難訓練を実施していきます。また天草市内一斉の地区の避難訓練にも積極的に児童に参加をさせていきます。

開かれた学校

16 家庭や地域との連携協力

先生方は、保護者や地域とよく連携をとっていると思いますか。



学校から

本校では、楠浦小版コミュニティスクールを実施しています。昔遊びや低学年の学習を支援していただいた「ぐんぐんキッズ」の皆さん、学習発表会などを支援していただいた地区振興会の皆さん、見守り隊の皆さん、読み聞かせの「おやゆび姫」の皆さん、学校運営協議会の皆さん、民生委員の皆さんなど、多くの保護者や地域の皆様に本校の教育活動をボランティアで支えていただきました。本校のコミュニティスクール会議は、これら各団体の横のつながりをこれまで以上に強くし、さらに充実した支援をしていただく目的で開いています。左記のグラフからもわかるように、「4」と「3」の評価を合わせると、90%を越える結果となっています。これからもご支援をよろしくをお願いします。

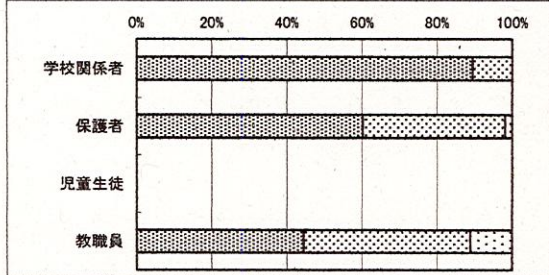
4  そう思う    3  どちらかというと思う    2  どちらかというと思わない    1  そう思わない

グラフは、左記の4段階評価で表してあります。

開かれた学校

17 情報発信

学校は、学校便りや学級通信などにより、学校の情報を十分発信していると思いますか。



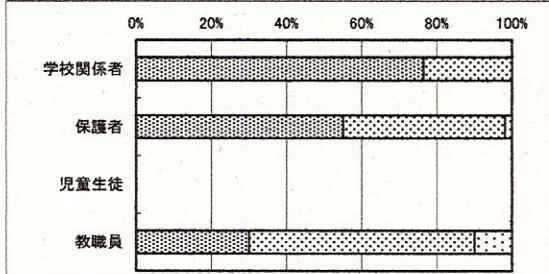
学校から

学校便りは楠浦地区振興会のご協力のおかげで全戸へ配付をさせていただいています。また学校配信メール、ホームページの活用により児童の毎日の学校生活の様子を発信するようにしています。学校関係者のなかのコメントにもホームページ閲覧について多く記入されていてうれしかったです。どんどん学校を拓いて参ります。

開かれた学校

18 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、参加しやすいと思いますか。



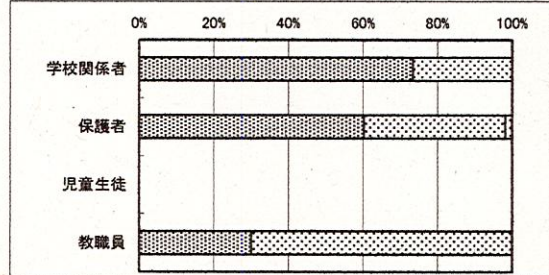
学校から

「学校へ15(いこう)デー」と名づけて、原則毎月15日に授業参観などを実施しています。保護者の出席率は、4月97%でした。学級懇談会の出席率が低い傾向にありますので改善できるよう工夫していきます。今後も授業参観を実施する場合は、事前に学校だよりや学級通信、お知らせの文書等を配付し、地域の皆様にも自由に来校していただきたいと思っています。

開かれた学校

19 学校行事の工夫

学校は、運動会・学習発表会などの学校行事を工夫していると思いますか。



学校から

全ての教育活動は、前例踏襲とにならないように昨年度の反省を十分に踏まえ、改善を加えた計画を立てるようにしています。運動会についても、昨年度9月の実施での反省を生かした開催を目指したところです。来賓についてはご案内できず申し訳ありません。保護者の皆さんからのコメントにも、運動会には工夫があった、午前中でよい、昨年度の反省をいかしているのが分かったなどお褒めの言葉を確認することができました。P(計画)D(実行)C(評価)A(改善)のマネジメントサイクルにより、各行事の実施後に反省を必ず行い、今後も行事の計画に反映できるようにして参ります。